

第5次西宮市総合計画後期基本計画策定に係る学識経験者懇談会（第1回） 議事概要

開催日時	令和4年11月9日（水）午後7時00分～8時45分
開催場所	西宮市役所本庁舎442会議室
出席者	岡教授、佐藤教授、新川名誉教授、馬場教授、 客野教授、西村教授、花田教授、藤井教授
欠席者	倉石教授
事務局	清水政策局長、時井政策局担当理事、三村政策総括室長、堀越政策推進課長
傍聴者	なし
議題(案件)	<ol style="list-style-type: none"> 1 副市長挨拶、出席者紹介 2 会議趣旨の説明、座長等の選出 3 後期基本計画の策定 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第5次西宮市総合計画について (2) 後期基本計画の策定方針 4 アンケート結果等 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第5次西宮市総合計画前期基本計画に関するアンケート結果 (2) 人口の状況 5 その他 <ol style="list-style-type: none"> (1) 次回開催日時の確認 (2) 事務手続
資料	資料1：第5次西宮市総合計画後期基本計画策定に係る学識経験者懇談会設置要綱・運営要領 資料2：第5次西宮市総合計画について 資料3：第5次西宮市総合計画後期基本計画策定方針 資料4：第5次西宮市総合計画前期基本計画に関するアンケート結果（概要版） 資料5：人口の状況

議 事 の 経 過	
発言者	発言の内容
	<p>1 副市長挨拶、出席者紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北田副市長より挨拶。 ・事務局より構成員紹介、事務局職員紹介。
	<p>2 会議趣旨の説明、座長等の選出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より会議趣旨説明。 ・傍聴希望者がいないことを確認。 ・座長に新川名誉教授を選出、座長代理に岡教授を指名。
	<p>3 後期基本計画の策定</p> <p>(1) 第5次西宮市総合計画について (資料2について事務局より説明)</p>
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・本日は全体の導入枠組みについて議論し、具体的な各論については今後2回目、3回目の懇談会で議論することになる。御意見、御質問等があればお願いしたい。
構成員	<ul style="list-style-type: none"> ・第5次総合計画後期基本計画は、前期5年を見返した上で調整、修正できるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・後期基本計画については前期基本計画から引き継ぐものもあるが、前期5年間の社会情勢や制度等の変化を反映する必要があるため、前期基本計画の進捗等の状況を確認した上で、新たな項目を追加したり方向性を変更したりしなければならないものもあると考える。施策体系が大きく変わることは想定していない。
構成員	<ul style="list-style-type: none"> ・時系列で各施策の効果を評価していく中で、KPIやアウトカムを時点修正したり新たな指標を設けたりする場合もあるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・第5次総合計画では、あえてKPIなどの数値指標は定めていない。各事業の事務事業評価では指標を設けて事務を進めているものがあるので、こちらの指標や目標値を変える場合はあると考えている。
構成員	<ul style="list-style-type: none"> ・人口動態は重要だと思うが、少子高齢化はもとより単身化や家族の縮小化度合いなどの傾向と予測について今後議論するための資料を作成する予定はあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・後ほど詳しい説明を行うが、令和2年国勢調査結果に基づく社人研の将来人口推計がコロナの影響で1年ほど遅れることが公表されている。本日の資料も今ある情報を基に作業しており、現状の国調結果に基づく部分については分析できると思うが、先の見通しについての作業は難しいと考える。今後の議論に必要ということであれば、次回までに作成してお示しする。
構成員	<ul style="list-style-type: none"> ・下位計画の地域別アウトラインの扱いについてお示しいただきたい。また、地域の状況について、前期基本計画策定時からの大きな変化や大開発による将来的な変更等があればお示しいただきたい。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> 地域別アウトラインは今回の後期基本計画策定に当たって時点修正を予定しているが、社人研の将来人口推計が遅れている中、更に地域別の将来人口推計を作成してお示しできるのが令和6年度になると想定しているため、今回令和5年度までの作業においては一旦保留という形を考えている。基本計画やアクションプランの策定作業をしていく中で、各地域に落とし込んでいくべき取組に変化があった場合には、それらを集約してアウトラインとして取りまとめる形を考えている。現在、前期基本計画の各事業が進められている状況で地域での特筆する変化はないため、大きくまちのあり方が変わる状況ではないと考えている。 <p>(2) 後期基本計画の策定方針 (資料3について事務局より説明)</p>
座長	<ul style="list-style-type: none"> 社会経済情勢の変化は著しいものがあり、新しい地域のニーズや社会全体のニーズに応えていく必要性も高い。後期基本計画策定に注力して議論を進めていきたい。
構成員	<ul style="list-style-type: none"> 後期基本計画策定に当たり、市民が常に参画する環境計画推進パートナーシップ会議のようなネットワーク組織はないのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 各事業や施策分野を対象とした市民が参画する会議体はいくつかあるが、一般的な政策や施策について継続的に市民が参画して議論していただく会議体はない。市民や通学、仕事などで市と関わりのある方を一般募集した市民ワークショップの開催を予定しており、デジタル化、環境、コロナの3テーマについて意見を頂戴する場にしたいと考えている。
構成員	<ul style="list-style-type: none"> わざわざ新たな組織をつくる必要はないが、今ある組織から出た意見を抽出してお示しいただき、この懇談会で議論するための資料としたい。
座長	<ul style="list-style-type: none"> 各種市民団体や市民活動からの意見について情報を集めて次回でお示しいただきたい。
構成員	<ul style="list-style-type: none"> 市民ワークショップの進め方についてお示しいただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 11月12日(土)に開催する。50名定員で募集して48名の応募があった。事前にデジタル化、環境、コロナから希望するテーマを選択してもらっており、10名前後のテーブルに分かれて、それぞれ各テーマについて約2時間、市民の方同士で話し合ってもらっていただく予定としている。このワークショップで出た意見については、次回の懇談会でも取りまとめてお示しする。
構成員	<p>4 アンケート結果等 (1) 第5次西宮市総合計画前期基本計画に関するアンケート結果 (資料4について事務局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての施策について読まなくてはならず、回答がとても大変なアンケートなため、回答者は後ろの方の問いを回答する時には疲れてしまっているのではないか。
座長	<ul style="list-style-type: none"> 6ページの各施策の満足度と期待度の比較の散布図を見れば一目瞭然だ。

<p>構成員 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・回答者の年齢階層別の分析はしているのか。年配の方からの回答が多いのではないか。若い世代や子育て世代の考えや傾向が気になった。 ・回答の属性について、男女別では男性41.6%、女性57.0%で女性からの回答が多かった。年齢層では60歳～69歳で17%、70歳以上で27.4%と、市の年齢構成割合で無作為でアンケートをお送りしているが、比較的年齢層の高い方からの回答が多い傾向であった。御指摘いただいたとおり、なかなか回答が大変だったという感想もあり、回答率が低くなった要因かもしれない。ただ、第4次総合計画策定時に行ったアンケートでは、わかりやすい質問項目を設定して実施したところ、その施策の一部分だけをお見せすることになり偏った回答結果になったのではないかと考えており、今回は回答が大変だが施策全てをお見せするアンケート内容としている。 ・ワークショップについては、まず市政ニュースで募集した際は比較的年齢層の高い方からの申込みが多かった。その後やTwitterやFacebook、大学交流センターを通じた募集を行った。最後にLINEでの募集を行った際には10代20代からの応募があり、結果一番多い年齢層は50代となった。若い世代の参加を期待していたので、電子での申込みとしたことや、市政ニュースだけでなくLINEなどの媒体での募集に効果があったと考えている。参加者の状況など詳細は次回でお示しする。
<p>構成員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文教住宅都市として教育分野の期待度、満足度が低いことに驚いている。プリントドネイティブの世代は教科書や本を読んでいるのが良いという時代のため、今のデジタルネイティブがデジタル教科書やスマホを操作することを悪いこととして見てしまう年齢層もいる。今の年齢構成から見ると子供時代を忘れてしまった方が非常に多いと感じる。誰もが皆子供だったわけなので、どのような子供時代を過ごすかということも影響してくると思う。 ・量的な評価と質的な評価、どちらも行わなければいけないと考える。質的な評価がどうだったのか、アンケートの自由記述についても一定整理をしてお示しいただきたい。
<p>構成員 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2ページから4ページまでの図があれば、6ページに示されている現状の散布図には意味がないと感じる。散布図の分析、評価についてお示しいただきたい。 ・安全や都市ブランド等の単純な問いは評価率も評価も高い傾向になっているが、教育や福祉等の比較的判断の難しい問いでは「わからない」「無回答」という回答が多かった。この「わからない」「無回答」を除いた数値を基に比較しているが、4象限で比較するのであれば「わからない」「無回答」を除いて100として比較しないと正確な分析はできないと考える。 ・実際の期待度は全て半数を超えているため、市の施策は基本的には期待されているという結果になっている。その中で優劣を付けた相対比較では期待値が低いものが出てくるというもので、人的や財政的な資源に限りがある中でメリハリを付けた判断に影響することもあるかもしれないが、決してこの4象限の中で期待度が低いからといって必要とされていないものではない

座長	<p>め、今後この資料の出し方については検討したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散布図の縦軸、期待度の最低値は0.0～5.0ポイント中の2.7ポイントと期待度が高い数値となっているので、この辺りもしっかり考えて全体を評価しないといけないと考える。
構成員	<ul style="list-style-type: none"> ・年配の方からの回答や「わからない」という回答が多いことが分かったが、例えば「子供・子育て支援」や「学校教育」については子育てを終えた方々には現状が分からない、また若い世代にとっては、「医療サービス」は関係するが福祉関係については分からないという状況があると思う。項目によっては年齢のクロス集計が必要だと感じる。
構成員	<ul style="list-style-type: none"> ・自由意見を集約する際は、どのようなことを考えている方が多いのか、コンセプトが伝わる形で整理してお示しいただきたい。また、将来の事を考える時には若い方の意見を聞きたいと思う。時間的に間に合わないとは思いますが、他市では、大学生にファシリテーターをしてもらって市内の高校生を対象にワークショップを開催した事例がある。教育を受けている立場として意見を求めるべきだったと感じる。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・今回実施したアンケートは、本来意見を聞くべき18歳未満は回答対象ではなかったため、この点については今後どのようにフォローするのか考えてもらいたい。事例紹介のあったワークショップを改めて実施するのは難しいかもしれないが、11月12日（土）に開催するワークショップでは10代も参加されるとのことなので、工夫して意見をしっかり聞いてもらいたいと考える。
構成員	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢の方で自分の子供を育てるために西宮に引っ越してきた方がたくさんいるのに、どうして「子供・子育て支援」や「学校教育」がこんなに低いのだろうと思った。設問の「子供一人ひとりが健やかに育ち」や「子供が夢を抱き」では目標としてイメージがわからない。実際に西宮市に転入された方々は、良い教育が受けられるとか、周りの子供が優秀だとか、そういうイメージがあるから転入してくるのであって、施策として出てくる言葉と実態との乖離があって答えにくかったのではないかと感じる。結果として予測して読める内容は答えられるが、施策として出てくる言葉に対してはその場にはないと理解できないことが多かったのではないかと感じる。「福祉・健康・共生」の項目でも、「高齢者福祉」などは多く回答してもらっているが、「障害のある人の福祉」や「生活支援」の話になれば回答数が減っている。実際の当事者を抜き出して分析する方が良いのではないか。この回答結果は、今の西宮市を評価するための指標を出す回答ではないと思う。分析の仕方を工夫しないと、この結果をそのまま受け止めるのは少し危険だと感じる。
構成員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域によって都市環境や安心安全度、医療環境が変わってくるので、地域ごとの集計もお示しいただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今回お示ししているのは速報版、概要版のため、今後クロス集計が必要と考えている。できる限り、頂いた意見を反映したクロス集計を次回でお示ししたいと考えている。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・郵便番号の記載もあるので、地区別にある程度まとまった分析ができるもの

	<p>と考えている。</p>
	<p>(2) 人口の状況</p> <p>(資料5について事務局より説明)</p>
構成員	<ul style="list-style-type: none"> 全国的に小中一貫学校や義務教育学校等がある。西宮市でも校舎の建替えや増築を行っているので、学校区ごとの人口動態、転入、転出のデータがあればお示しいただきたい。
事務局 座長	<ul style="list-style-type: none"> 学校区や9ゾーンでの地域別の人口動態の把握も可能。 その辺りも次回に間に合うのであればお示しいただきたい。
構成員	<ul style="list-style-type: none"> どこの市町村も若い女性に住んでほしい、出産してほしいと望んでいるのは分かるが、それが出生率に結び付いていないように感じるがいかがか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 実際の人口動態では全体的に転入数は減っているが、転入率が落ちてくるだろうと想定していた女性、特に26歳から39歳の女性の転入率はあまり鈍っていない状況にある。今の段階で客観的な判断は難しいが、人口推計上では将来子供が多く生まれてくる結果となり、実態としてこの年代の女性の転入率が高いレベルで維持されていることが、人口推計が上ぶれする結果につながっている。西宮市内のマンションはリセールバリューが高い。西宮北口駅南側に新築されたマンションでは、ファミリーよりもDINKSやシングルの女性が多く購入しており、売れ筋は70㎡ほどのものと聞いているが、今後子育てを計画している家庭からすると子供が2人となってくると少し手狭になってくる可能性もある。この年代の女性が、結婚してから転入されているのか、子育てを前提に転入されているのかは分からないところがあり、このようなことから女性の転入率が高いことが出生率の上昇につながるということには少し疑問がある。令和2年度の出生率は、全国1.33に対して西宮市が1.39となっている。前回国勢調査が実施された平成27年以降、低い出生率として1.4～1.5程度で推移していたものが1.4を割り込んだ。推計は、あくまで原状の人口の動きを社人研の推計の仕方に当てはめたものであるため、若い女性は転入してきているが出生率が全国的に下がっている状況において、今後社人研から推計用の出生率や純移動率の指標が提示されて当てはめた際には、もっと人口の減り方が激しい結果となる可能性がある。
構成員	<ul style="list-style-type: none"> 西宮市外で育った、でき上がったファミリーや高所得の女性が転入してくることは、経営面だけで考えると市は歓迎できるのかもしれないが、将来性を考えると他自治体から流れて来る人たちをキャッチするだけの西宮であっていいのかと感じる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 場所に応じて考えないといけない。西宮北口駅南側を始めとする利便性も高くおしゃれな場所では、あえてファミリー層をターゲットにするのではなく、現状で人気となっているDINKSやシングル層をターゲットにすればよいし、ファミリーには少し離れた閑静な場所を選択してもらえるようにしていくべきと考える。
構成員	<ul style="list-style-type: none"> 西宮の住宅価格は高すぎて、実際にこれから子育てをしようとする世代が購

座長	<p>入できる住宅がないのではないかと感じる。今後ますますそのような状況になってくるとのではないかと感じる。西宮を考える指標をつくる際には、他市とは少し違ってもよく、兵庫から大阪まで連なっている中でどのような都市を目指すのかは、それぞれの市の役割や色があってよいと感じる。</p>
構成員	<ul style="list-style-type: none"> ・この点は今後の後期基本計画を考えていく際の重要なポイントになる可能性が高いと感じる。 ・神戸市中央区もシングルの女性が多く同じような状況にある。昼の人口と夜の人口の割合やマンションの平米数、どこにどういうふうに分布しているかのデータを平面上に表してドットの数でだいたい見ていくという分布図があると分かりやすい。このまちが循環していく、回っていくには、若い人が次々に入ってきて教育を受け成長し、子育てをしながら地域の介護や福祉に携わるといことが重要だと思う。市全体を考えると都市部から離れたところとの差がないように考えてほしい。人が都市部に出て行ってしまい公共性の高い物事に携わることから逃げてしまわないよう、自然豊かな場所を維持するなどの方策も考えてもらいたい。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の動きを見える化するような工夫も事務局で検討いただきたい。宅地開発やマンション開発などの情報、また世代ごと家族構成ごとの動きについてのデータを可能な範囲で収集していただきたい。地域間での格差については、私たちも注意して議論できればと思う。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ここままで、言い残したことや言っておかなければならないことがあれば発言いただきたい。
構成員	<ul style="list-style-type: none"> ・西宮の玄関口はどこなのかといつも思う。JR西宮、阪急西宮北口、阪神西宮、阪神電鉄には甲子園もある。それぞれに特徴と個性があり微妙に距離感があり、へそは要らないまちなのかと思ったりもする。地域別アウトラインにあったが、これから環境が変わっていく中でソフトでの対応をせざるを得ない一方、ハード面でのまちの開発も進んでいくと思う。例えば武庫川新駅や西宮浜のまちづくり、阪神流通センターや流通業務団地の役割、しっかり残っている近郊農業、JR西宮にはタワーマンションができ卸売市場が整備されていく、名神湾岸連絡線の整備、山手幹線の拡幅など、何年ぐらいを目途にこれらの整備が整っていくのかという地図上の一覧表みたいなものがあれば理解がしやすい。国の立地適正化制度の中で、どこのまちでもスポンジ化にどう対応するのかが考えられている。高木小学校のあるエリアでは変化が大きくとにかく人が多い、西宮浜は変わっていない、などこれから5年後どうなるのか、人の動きがどう変わるか、市の全体図の中でどの部分で何年後を目途にどう変わっていくのかが分かるものをお示しいただきたい。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・完全に御要望に答えられるかどうか分からないが、事務局には大規模開発やインフラ整備を含めて、できる限りのデータを集めていただきたい。 <p>5 その他 (1) 次回開催日時の確認</p>

事務局	<p>・次回の開催日時は1月下旬の前提でこちらから照会をかけさせていただく。参加状況によっては夜間での開催やオンラインでの参加をお願いする可能性がある。後日、作成した議事録をお送りするので発言内容について御確認いただきたい。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
-----	--